

八峰白神ジオパーク

八峰町の地名の由来、再認定現地審査を開催

かつての沢目村は、明治22年（1889）の町村制施行の際に水沢、目名潟、沼田、高野野、田中の集落が合併してできた村です。沢目村の由来は、水「沢」と「目」名潟から一文字ずつとつた合成地名でした。その後、昭和30年（1955）に沢目村と塙川村が合併して峰浜村が誕生しています。



JR沢目駅

前回に引き続き、八峰町の地名の由来を紹介していきます。●**沢目** 沢目という地名は、現在は住所としては使われていませんが、JR沢目駅や沢目子ども園などの中の名称に使われています。



鹿の浦展望台でガイドが審査員を案内する様子

審査について
審査は日頃の活動を点検し、ジオパークの質を高めるため4年に一度行われています。当ジ

八峰町の地名の由来

前回に引き続き、八峰町の地名の由来を紹介していきます。

●**沢目** 沢目という地名は、現在は住所としては使われていませんが、JR沢目駅や沢目子ども園などの中の名称に使われています。

八峰白神ジオパークの再認定現地審査が11月1日～4日の日程で行われました。4日間の中で審査員は、前回指摘された課題に対する進捗状況を確認しました。また「旧春秋林道」や「白瀧神社」などのジオサイトを視察しました。審査員は白神山地を伝えるガイド等を評価する一方で、ストーリーや運営体制についての課題を指摘しました。正式な審査結果は来年の1月18日に公表されます。

オパークでは2年前にも審査が行われ、「条件付き再認定」となりました。その後、アクションプランを作成し課題の解消に向けて2年間取り組んできました。今回の審査では2年間の活動と今後4年間の展望が評価されることになります。指摘事項に対して達成度が低いと判断されば、日本ジオパークの認定が取り消されることもあります。

今後の課題

審査はジオパーク関係者への聞き取りを中心に行われ、4日目には審査員からの講評を行いました。講評では、前回指摘された12の課題について、「ジオサイトの見直し、拠点施設の整備、防災への取り組み等についてはある程度進捗が見られた」としつつも「この地域のストーリーや協議会の運営体制については不十分」と指摘しました。

また、ツーリズムは「地域に素晴らしい素材があるが、観光協会等との連携を推進して、自分たちが何を売り込みたいのかを設定する必要がある」としま

ストーリーについては、「郷土の自慢できるところ、伝えたいことをぜひみんなで話し合ってストーリーを作つてほしい。地域の人、事務局、運営委員会がそれぞれ話し合い、またお互いの情報を交換する必要がある」と提起しました。

今後は、いかに地域の人の意見をくみ上げてストーリーを作り上げていくかが大きな課題です。

再認定現地審査を開催

八峰白神ジオパークの再認定現地審査が11月1日～4日の日程で行われました。4日間の中で審査員は、前回指摘された課題に対する進捗状況を確認しました。また「旧春秋林道」や「白瀧神社」などのジオサイトを視察しました。審査員は白神山地を伝えるガイド等を評価する一方で、ストーリーや運営体制についての課題を指摘しました。正式な審査結果は来年の1月18日に公表されます。

オパークでは2年前にも審査が行われ、「条件付き再認定」となりました。その後、アクションプランを作成し課題の解消に向けて2年間取り組んできました。今回の審査では2年間の活動と今後4年間の展望が評価されることになります。指摘事項に対して達成度が低いと判断されば、日本ジオパークの認定が取り消されることもあります。

今後の課題

審査はジオパーク関係者への聞き取りを中心に行われ、4日目には審査員からの講評を行いました。講評では、前回指摘された12の課題について、「ジオサイトの見直し、拠点施設の整備、防災への取り組み等についてはある程度進捗が見られた」としつつも「この地域のストーリーや協議会の運営体制については不十分」と指摘しました。

ストーリーについては、「郷土の自慢できるところ、伝えたいことをぜひみんなで話し合ってストーリーを作つてほしい。地域の人、事務局、運営委員会がそれぞれ話し合い、またお互いの情報を交換する必要がある」と提起しました。

今後は、いかに地域の人の意見をくみ上げてストーリーを作り上げていくかが大きな課題です。

長年の功績に光

11月3日、政府は秋の褒章受章者を発表しました。本町では、佐藤勇一さんが教育功労で瑞宝小綬章を受章しました。

佐藤さんは、昭和44年秋

田大学を卒業後、高校の英語教諭として能代市内の高校の教壇に立ち、秋田高校合川高校長、平成16年に秋田北高校長に就任し、平成19年3月に退職しました。

現在は、八峰町の国際交流コーディネーターを務めています。

佐藤さんは、自身の教師生活で、常に現状を改善しようと心がけてきたといいます。また、自身が40代になつてから経験したホームステイで、外国の暮らしを身近に感じられることに感動を感じ、この感動を生徒に体験させたい、と研修プロジェクトを計画しました。実現までには5年かかりましたが、異國の地に降り立つ時、生徒がパッと明るい表情に変わった瞬間が忘れられないといいます。

佐藤さんは、「外国に行つてみたい」「外の方を家に泊めてみたい」という子ども達が増えてくれることを期待しているといいます。受章おめでとうございます。



秋田県統計功績者 県知事表彰3名が受賞

11月7日、秋田県功労者表彰式が行われ、金平キサ子さん（塙）、小沢悟さん（石川）、田村留美子さん（駅前）が秋田県知事表彰を受けました。

この表彰式は、統計に関し功績のある個人及び団体を表彰し、統計関係者の士気の高揚を図るとともに、県民の統計に対する認識を深め、統計制度の発展に資することを目的に、行われています。

受賞された3名は、国勢調査や農林業センサスの調査員として長年にわたり従事した功績が認められました。受賞おめでとうございます。



全国町村監査委員協議会表彰 柴田正高さん（目名潟）が受賞

全国町村監査委員協議会表彰において、柴田正高さんが、町村等監査委員として7年以上在職し、功労があつたとして監査功労者表彰を受賞しました。

柴田さんは、平成18年から2期7年11か月間にわたり、町の監査委員を務めました。受賞おめでとうございます。

ストーリーについては、「郷土の自慢できるところ、伝えたいことをぜひみんなで話し合ってストーリーを作つてほしい。地域の人、事務局、運営委員会がそれぞれ話し合い、またお互いの情報を交換する必要がある」と提起しました。

今後は、いかに地域の人の意見をくみ上げてストーリーを作り上げていくかが大きな課題です。

八峰白神ジオパーク推進協議会 地域おこし協力隊 三輪拓磨

TEL 0185-177-3086
秋田県山本郡八峰町八森字二十釜一四一
ぶなつこランド内